

協立病院の理念

人権と人格を尊重した、
こことからだの総合診
療とケアを実践する

協立病院だより

No.90 2023年4・5月号
発行：みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1
TEL 048 (959) 1811 / FAX 048 (959) 1819
<http://www.tokyo-kinjaku.com/misato/>

みさと協立病院は、1985年に特別許可老人病床140床を東京勤労者医療会が買収して、翌年に老人病床102床、精神科病床50床の病院となり、1988年に人工透析を開始、1990年に現在地に新築移転して以来、この地域で慢性疾患に悩む患者様や御家族とともに歩んでいます。

特に、血液透析される病棟は、現在回復期リハビリテーション病床42床と、障害者病床60床の二つがあり、どちらの病棟も、急性期疾患を乗り越えながらも、御自宅や社会生活に戻れない患者様たちの、全身管理とリハビリテーションを中心とした、お手伝いをしてい

2018年に精神科病床は休床になりました。そして、みさと協立病院へようこそ。私たちとともにこの病院で働く仲間に加わって下さったことを歓迎します。

2018年に精神科は訪問診療を開始して、外来と合わせて、三郷地域の精神科医療の中心的な存在です。



みさと協立病院

院長代田和博

御入職おめでとう

力も必要になりま
す。

私は、小中学校ともに三郷市の学校を卒業していきました。現在は、三郷市と隣である吉川市に在住し十数年が経ちます。両市ともに緑があり、私も心が落ち着くこと

い大好きな街です
そのような環境
の中では私は、介護
士として従事して
いる際に、格好い
い看護師に出逢い
看護師を目指すこ
ととなりました。
その格好いい看護
師、私が今でも憧

病院

よろしく
お願ひします

みさと協立病院

A black and white photograph of two individuals standing in front of a building. The building has large, stylized Japanese characters above the entrance. In the foreground, a man on the left and a woman on the right stand behind a dark-colored motor scooter. A white speech bubble originates from the woman's position, containing the Japanese phrase "よろしくお願いします" (Yoroshiku onegaishimasu), which translates to "Please" or "Thank you very much".

そして、看護学校では様々なことを学びました。基礎看護学実習の受け持ち患者さんからは、「耳をダンボにして聞くんだよ」という言葉を頂きました。以降の実習

まだまだ右も左も分からず分からないことだらけですが、日々出来ることを一つずつでも増やし、分からないこと を分かるようにします。一所懸命に努めますのでよろしくお願ひします。

かと疑問を抱き、いつまでも私の心の中に残りました。このような憧れの看護師を目指し、今年晴れて看護師となりみさと協立病院で働くこととなりました。この先も、人として看

すようになつたきつかけは、看護師である母です。私が中学生の時、ショッピングモールの駐車場で高齢の女性が倒れ、迅速に対応する姿を見て、憧れを抱く様になりました。また、

私は看護師を目指すことを決意しました。その学びを忘れず、これから地域や社会に目を向け、努めたいと 思います。さらに、看護学校では「患者さんをありのままに捉える」をモットーとしていまし

この度、看護師としてみさと協立病院で働かせて頂くことになりました。では、疾病と生活は密接に繋がつており、更にそこには政治や社会保障

看護師
長江 昌裕

護師として学び継
けたいと思います
そして、スタッフ
や患者さん、家族
のために、いくつ

もの引き出しを持つていることが強みとなれるよう頑張りたいです。よろしくお願ひします。

友の会だより

編集 みさと協立友の会

048-959-1811 No.90

『人に歴史あり、歴史で語られました。』
 あらためて通読して、あらかじめ言葉がありました。
 浮かんだ言葉がありました。

い、仕事や趣味、ボランティア活動。多くの言葉が語られました。

日々の暮らし、人の糸、反戦平和への思

て、この人に聞く』
 三郷早稲田日本共産党後援会が毎月発行している「お知らせニュース」の裏面で連載して

登場いただきました。お話を聞き、共に悲しみ、怒り、喜び、人生を追体験させていた

7人の多彩な方々にご登場いただきました。お話を聞き、共に悲しみ、怒り、喜び、人生を追体験させていた

7人の多彩な方々にご登場いただきました。お話を聞き、共に悲しみ、怒り、喜び、人生を追体験させていた

て、この人に聞く』
 三郷早稲田日本共産党後援会が毎月発行している「お知らせニュース」の裏面で連載して

ここに一冊の冊子があります。

『三郷早稲田に生き

て、この人に聞く』
 三郷早稲田日本共産党後援会が毎月発行している「お知らせニュース」の裏面で連載して

ここに一冊の冊子があります。

あります。

あります。